

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県洲本市 洲本インターチェンジ駐車場

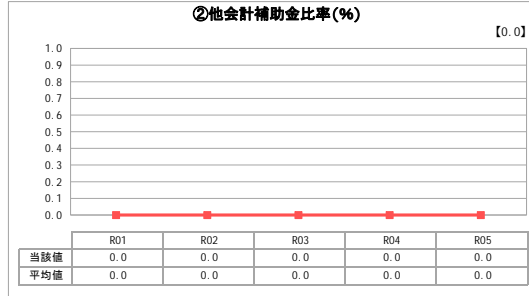
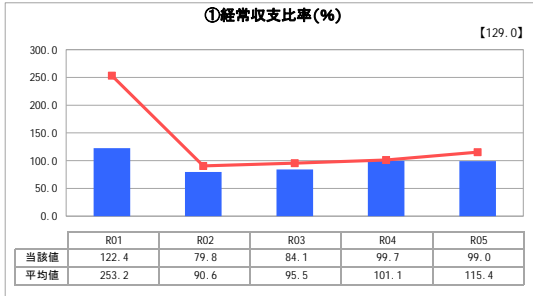
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
99.2	届出駐車場 その他駐車場	広場式	12	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
無	無	2,624
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
209	300	無

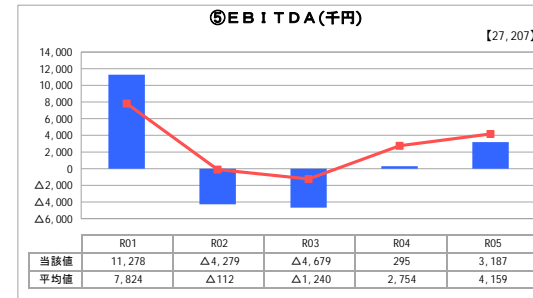
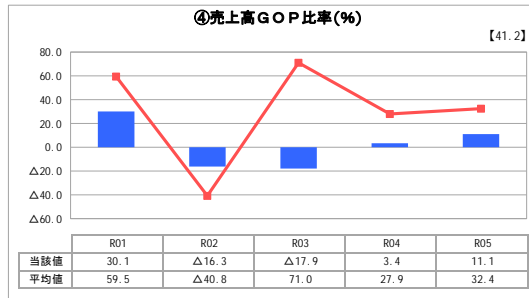
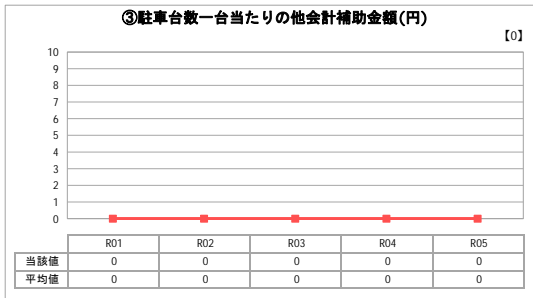
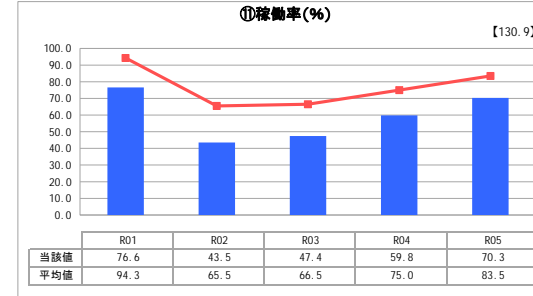
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

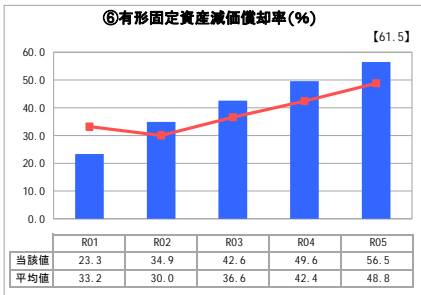
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

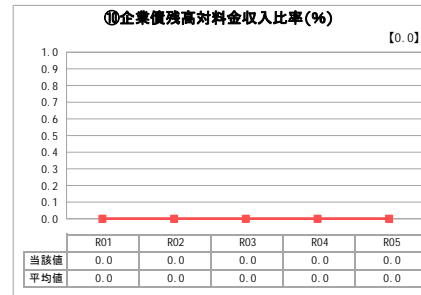
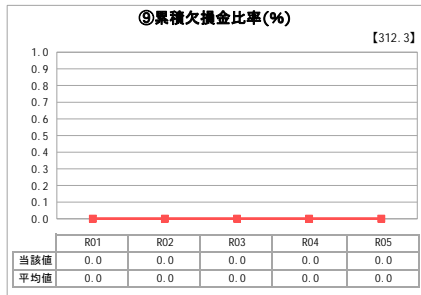


⑧ 敷地の地価(千円)

9

⑨ 設備投資見込額(千円)

1,000



分析欄

1. 収益等の状況について
 経営状況は概ね回復傾向にあるものの、経常収支比率は令和4年度決算値よりやや低下し、依然として100%を下回っている。
 令和6年度からは指定管理者制度を導入し、経営改善を図る。

2. 資産等の状況について
 当該駐車場には駐車場利用者用のトイレを有している。有形固定資産減価償却率は56%程度となっており、精算機やその附帯設備のほか、駐車場利用者用のトイレの改修等も将来的に検討していく必要がある。

3. 利用の状況について
 令和4年度決算と比較すると稼働率が10.5ポイント上昇し、コロナ禍前に近い状況まで回復した。
 当該駐車場は、島外への路線を有する高速バスの停留所に併設していることから、島外への通勤や通学、観光、レジャーなどの利用者が多くを占めている。
 コロナ禍の影響がほぼ解消され、観光やレジャーでの利用者が戻ってきていること、また、近年島外への通勤者や通学者が増加していることが、稼働率上昇の要因と推測される。

全体総括
 当該駐車場は島外への買い物、レジャーによる利用のほか、通勤や通学による利用が多く、コロナ禍の影響がほぼ解消された中、利用者が回復しつつある。
 令和6年度から指定管理者制度を導入し、経営改善に取り組むとともに、利用者の利便性向上につながるサービスを拡充するなど、一層の利用促進と安定した経営を図る。